

■ 調査の目的 ■

本調査は、公益社団法人日本心理学会 教育研究委員会 調査小委員会が、心理学以外の学問分野を専門とする研究者の方々を対象として、心理学が他の学問分野でどのように活かされているのか、どのような貢献を求められているかを探ることを目的として、2016年8月から9月にかけて、諸学会の多大なるご協力を得て実施したものです。

調査の背景や全体的な統計結果など、本調査に関する質問や、何らかの問題が生じた場合は調査者までご連絡ください。

調査責任者

公益社団法人 日本心理学会・教育研究委員会・調査小委員会

三浦麻子（関西学院大学文学部・教授）

asarin@kwansei.ac.jp

\*\*\*\*\*

ご協力いただいた方々                      合計 717名

性別 男性 81.03%, 女性 18.55%, 無回答 0.42%

年齢 平均 46.24歳 (SD 12.48歳)

心理学者との共同研究経験 ない 79.91%, ある 20.08%

専門分野

言語・文学	4.74	健康・生活科学	1.95
哲学	0.56	歯学	0.14
心理学・教育学	3.49	環境学	1.12
社会学	0.56	数理科学	2.37
法学	0.28	物理学	4.60
経済学	0.84	地球惑星科学	0.70
経営学	0.42	情報学	7.67
基礎生物学	2.51	科学	3.91
統合生物学	0.28	総合工学	9.07
農学	1.53	機械工学	9.90
食料科学	0.28	電気電子工学	2.51
基礎医学	1.26	土木工学・建築学	2.23
臨床医学	14.92	材料工学	3.21
		複合領域	18.97

調査では、以下に示す心理学の主要 10 領域について、3 つの観点からお尋ねしました。

- ⊕ 認知心理学
  - ❖ 人間の心の働き，例えば知覚や記憶，理解と学習，問題解決などについて，主に実験を通して解明しようとする心理学分野
- ⊕ 学習心理学
  - ❖ 人間を含む動物における，経験によって生じる比較的永続的な行動の変化の過程を研究する心理学分野
- ⊕ 生理心理学
  - ❖ 脳波，脳画像，脈波などを測定する生理学的な方法を用いて，人間の生理学的な活動と心理学的な現象との関連を解明しようとする心理学分野
- ⊕ 比較心理学
  - ❖ ラットやチンパンジーから人間に至るまでの種々の生物の行動を，その相違と類似，または近縁性の観点から比較研究する心理学分野
- ⊕ 教育心理学
  - ❖ 教育過程の諸現象を心理学的に解明し，教育を効果的に行うための方法を見つけ出すことを目的とする心理学分野
- ⊕ 発達心理学
  - ❖ 人間の生涯を通じた心身の成長や発達過程を，心理学の理論を背景として研究する心理学分野
- ⊕ 臨床心理学
  - ❖ 心理的な問題の解決や適応のため，助言・相談や診断・治療，およびその研究を行う心理学分野
- ⊕ 人格心理学
  - ❖ 人格（性格，パーソナリティ）の構造・機能・特性・評価などに関する研究を行う心理学分野
- ⊕ 社会心理学
  - ❖ 社会的環境の中で，個人や集団がどのような条件のもとでどのような行動を示すかについて研究する心理学分野
- ⊕ 産業心理学
  - ❖ 産業活動に従事する人間の心理を対象とし，組織や人事，適性や作業能率，市場調査，広告などを研究する心理学分野

※ご回答をいただく前に，上記説明文にお目通しいただいております。

- 既知度/理解度：その領域が存在していることを知っているか、内容を理解しているか
- 学術的重要性：アカデミックな価値があるか、分かると学術的に興味深いか
- 社会的必要性：国が研究費を拠出して研究する価値があるか、社会貢献度が高いか

	既知度/理解度 (%)		
	既知+理解	既知+無理解	知らない
認知心理学	36.40	43.38	20.22
学習心理学	20.50	37.94	41.56
生理心理学	16.32	38.08	45.61
比較心理学	10.18	38.49	51.32
教育心理学	23.43	53.70	22.87
発達心理学	28.73	47.00	24.27
臨床心理学	32.36	52.16	15.48
人格心理学	12.83	34.31	52.86
社会心理学	28.17	54.39	17.43
産業心理学	13.39	34.45	52.16

	学術的重要性 (%)		
	重要	非重要	わからない
認知心理学	83.54	2.37	14.09
学習心理学	67.50	5.72	26.78
生理心理学	66.95	4.74	28.31
比較心理学	48.68	11.30	40.03
教育心理学	71.41	7.67	20.92
発達心理学	76.01	5.02	18.97
臨床心理学	76.71	7.11	16.18
人格心理学	53.14	12.13	34.73
社会心理学	79.08	4.32	16.60
産業心理学	57.60	9.21	33.19

	社会的必要性 (%)		
	必要	不必要	わからない
認知心理学	72.80	4.32	22.87
学習心理学	58.44	7.81	33.75
生理心理学	57.60	7.25	35.15
比較心理学	38.63	14.64	46.72
教育心理学	73.22	6.83	19.94
発達心理学	70.29	6.28	23.43
臨床心理学	75.45	6.83	17.71
人格心理学	43.10	14.50	42.40
社会心理学	74.90	6.00	19.11
産業心理学	61.09	9.21	29.71

最後に、いくつかの観点から学問としての心理学に関するお考えをお尋ねしました。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	ややあてはまらない	あてはまらない
(%)					
心理学という学問は科学であると思う	44.91	30.54	13.67	6.69	4.18
心理学においては、 再現性には必ずしもこだわらなくてもよい	7.67	14.50	20.08	24.13	33.61
心理学の研究や取り組みは、 科学的方法論にのっとりたものである	32.22	35.29	21.48	7.95	3.07
心理学の進歩は、人々の生活を向上させる	42.68	38.21	13.25	2.79	3.07

お忙しい中、調査にご協力下さった方々に心より感謝申し上げます。

今後は、このデータにより詳細な分析を加え、日本心理学会の会員を対象として実施した調査結果と合わせて考察して、書籍の1章としてまとめる予定です。